

西南学院大学 図書館報

№. 102

1985(昭和60)年3月25日発行

〒814

福岡市早良区西新6丁目2番92号

西南学院大学図書館



西南学院との 不思議なご縁

商学部教授 白樫 三四郎

この三月で思い出深い西南学院大学を退職し、四月から新設の鳴門教育大学(徳島県鳴門市)に移ることになった。在職19年間、その間おおぜいの先輩、同僚、学生、卒業生、職員の皆様に暖かく支えられ、毎日を楽しく送ることができ感謝するばかりである。西南学院との不思議なご縁を以下に記してお別れのことばにかえたい。

本学はいうまでもなく1916(大正5)年、C. K. ドージャー先生によって設立された私立西南学院をその母体とする。その前年(1915年)から西南学院創立委員会がもたれたが、その委員の一人に、斉藤惣一氏(当時第五高等学校教授)がおられた。

斉藤惣一氏は福岡県小倉生まれで、(旧制)豊津中学の学生であった頃、父親を亡くし、一時休学された。しかし人物、学業ともに優れているところから、学友である柏木純一(わたくしの母の従兄、のち日本銀行各支店長、七十七銀行頭取を歴任)の関係で、わたくしの曾祖父、柏木勘八郎が斉藤惣一氏を家におき、氏は豊津中学に復学されたそうである。この頃からキリスト教に深い理解と関心をもたれるようになった。

斉藤惣一氏は豊津中学卒業後、五高を経て、東大文学部へ進み、英文学を学ぶ傍ら、東大YMCAで活躍されるようになる。そして、第五高等学校教授に赴任。西南学院創立委員会で斉藤惣一氏は初代院長の候補者としてあげられるが、これを断り、同じ頃要請のあった、寺内正毅総理大臣秘書官への就任も拒否して、結局YMCA主事に就任されるのである。

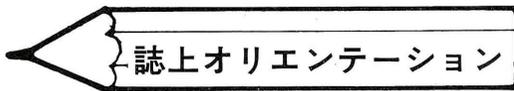
子どもの頃、祖母や母から斉藤惣一氏のことは

よく聞かされていた。氏がまだYMCA総主事として活躍しておられた頃、九州出張の折、母の実家に祖母を訪ねてくださることもあったと聞いている。氏は1960(昭和35)年病気のため74才で亡くなっているので、わたくしの西南学院大学就任のことをお知らせする機会は永久に失われたままである。

もうひとつ、珍しい体験をお話したい。1976(昭和51)年7月、わたくしは建国200年を祝うアメリカ、ワシントンD.C.にいた。前年夏からの1年間にわたるベイラー大学での交換教授としての任務を終えて、家族とともにアメリカ各地を旅行していたのである。ある日の夕方、ジョージ・ワシントン記念碑付近を散歩していると、あるグループの中に「日本語」というバッジを胸につけたアメリカ人婦人がおられた。彼女に尋ねられて、福岡から来たこと、西南学院大学教授であることなどを告げると、彼女は「すこし待っていてください」と言い、大急ぎで一人のアメリカ人紳士を連れてこられた。

なんとそれは西南学院創立者C. K. ドージャー先生のお孫さん(チャールズ・ドージャー氏)であった。当日、バプテスト教会の人々による野外音楽コンサートが開かれるため、その準備で教会員の方々が集まっておられ、そこにわれわれが通りがかったというわけである。あの広いアメリカで西南学院創立者のお孫さんに偶然出会えるとは…。改めて西南学院との不思議なご縁を感じさせられた。さようなら西南学院大学!

(経営心理学)



②

図書館の専門用語 その(1)

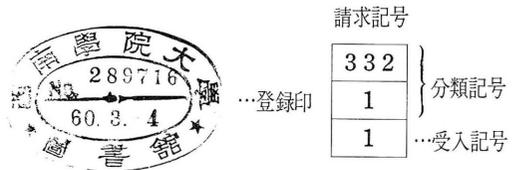
日本十進分類法 (NDC)

ある新聞に図書館の本はみな戸籍を持っている。戸籍とは、図書の登録、分類記号のことで、ある本が図書館に入ると登録され、これが戸籍の本籍であり、分類記号は数々の図書のどこに所属しているか、つまり住民登録であると面白いことをしていた。

全図書を分野別に10類に分け、数字を与える。0は総記(辞書、年鑑、目録など)以下1=哲学、2=歴史、3=社会科学、4=自然科学、5=工学、6=産業、7=芸術、8=語学、9=文学、次に例えば社会科学類を(3)1=政治、(3)2=法律、(3)3=経済と10綱に、さらに法律を(32)3=憲法、(32)4=民法、(32)5=商法など10目に分ける、目以下も分目、厘目、毛目といずれも10に分けて細分化し記号に数字を使うので十進分類法と呼びこれに対して文字(ABCや仮名)、符号、数字をまぜて分類するのを非十進法という。この図書分類法にも歴史的経過があるけれど、アメリカのデューイが考案した十進法(DC)に日本的要素を加味した日本十進分類法(NDC)が分類の標準化としてすすめられ、戦後日本図書館協会はNDC第6版を採用、出版図書の多様化に対応してNDCはその後も改訂作業を続け、現在使われているのは第8版である。(本学ではNDC第6版を使用)

請求記号

帯出証に請求番号とあるのはこのことで、同一分類記号内での2次配列のために図書館に図書を入れた順に図書記号をつけ形成したものである。



国際十進分類法 (UDC)

標準化している図書分類法の一つDCに各種の符号を組み合わせる仕組みで、万国共通のもの、進歩が激しく国際的な目配りが必要な科学技術の文献の分類法として活用、わが国では科学技術分野の専門図書館の16%が採用している。

ISBN

図書の表か裏に有名出版社の本なら、たいてい「ISBN4-00-000000-0」(0は数字)の表示がある。International Standard Book Numberの略で、4は世界的に割りふられた日本の地域番号、次の00は出版社記号で2ケタは大手10社、ケタ数が増えただけ規模の小さい出版社を示す。この記号はパリのISBN本部に登録され、国際的照会に対応している。国際的な図書の「背番号制」である。

(整理課洋書整理係)



昭和59年 文学部卒業

古川 智子

皆さんは、卒業後も図書館が利用できる制度があることをご存知でしょうか。

一卒業証明書・証明写真・印鑑・1カ月 100円
の手続料金一

以上を持参すれば、在学中と同じく、図書館の利用、あるいは、図書の貸出しができるというものです。

と、いかにもそれらしく書いているこの私も、この制度を知ったのは、ちょうど一年前、卒業式の日にもらったこの館報なるものによってでした。

考えてみると、学生時代、図書館を利用したのは、そう多くありません。試験期、あるいは、レポート・卒論のためぐらいで、読んだ本も、それら必要にせまられてのものが多く、結局、図書館の使い方さえよく知らずに、卒業してしまったのでした。

こういう私が、読書について書く、というのかなりおかしなはなしなのですが、卒業後、読書量がかなり増えたのではないかと考えています。もちろん、図書館という環境の中、周囲に本がふんだんにあるんです。本を読むのは当然かもわかりませんが……。しかし、それだけでなく、読書の仕方が変わってきました。ある事柄について

関連ある図書を数多く、又、系統だてて読むようになってきたと思いますし、自分の必要とする内容を持つ本だけを求めていた学生の頃にくらべ、館内で、ふと目にとまった本から、思いもよらなかった楽しさ・喜びをうけることも、最近多くなりました。うまく言えないのですが、本を読む楽しさというものが、少しずつですけれど、わかってきたような気がします。そして、こういうものが、私の人間的なにかを高めていくのに少しでも役立つようになれば、とも思います。

とりとめのない文となってしまいましたが、特に、卒業される皆さん、一般社会に出ると、仕事に関連あるものは別として、読書する機会はかなり少なくなることと思います。けれど、時には、本を読んで楽しむ、そういうゆとりのある暮らしをしてみたいかがでしょう。

本は、意外に高いものです。新刊・話題の書に関しては、街の書店にはかなわないと思いますが、せっかく、一年を通じて夜9時まで開館されているのです、できれば、母校の図書館も時には利用していただければ、と思います。

(西南学院大学図書館勤務)

私にとって大学生活後半の2年間は、大げさではありますが図書館とは切っても切り離せぬものでした。というのも私は教師になることを目指しているので一特に私の場合、小学校志望ですので一全てを独学でしなければならなかったからです。図書館に籠ったという表現が適切でしょう。普段の図書館は人も少なく（大学の図書館としては残念な気もしますが……）静かですので心に余裕をもって勉強できました。しかし、試験期間中は、空いている席はなく、たとえ空いていても騒がしいため、座る気もおこらないというのが実情でした。もっとも、それは私の集中力の無さから来るものも多分にあると思いますが。

いずれにしても、西南大図書館は係の人も親切で蔵書も豊富にあり私にとっては大変、居心地の良い所でした。

経済学部経済学科

佐藤 誠 司

西南の図書館は本の冊数も多く、閲覧しやすく分類もわかり易いので本も探しやすく非常に使いやすいからよく利用させていただきました。私が西南の図書館の大好きな点が2つあります。一つは、閲覧室での学習態度が非常によく、静かなので集中して調べたり、考えをまとめたりできる点、もう一つは、職員の方々の心配りが好きです。これは市立図書館や他大学の図書館のように機械で登録し貸出しするのでなく、一冊一冊ゴム印を押すことを通してコミュニケーションをとってあると思うからです。本を手渡される時や入退出の際かわす一言二言の会話が心をなごませてくれました。いつかは他の図書館のような登録貸出しの方法をとる日がくるとと思いますがこれからも学生一人一人との少しの会話を続けていってほしいものです。

文学部児童教育学科

川 上 文 子

希望として以下の点をあげたいと思います。

1. 辞典類（特に経営学辞典は古い）を新しくそろえて欲しい。
2. 白書類は利用度が高いので一冊は貸出しせずに常備して欲しい。
3. これは学生自身の問題ですが、館内での私語やマナーの悪さが目につくので、自粛する旨訴えて欲しい。

商学部商学科

松 隈 久 昭

図書館の

—希望もま

図書館というと普段はガラガラ、試験中は満員という印象が強いのですが、私にとっては、夏休みのガラーンとした図書館が印象的でした。

朝から夕方まで、横目にまぶしい光を見ながら勉強するのは、時には、たいくつでしたが、夕方一日の勉強を終えて、図書館を出る時、何とも言えない充実感がありました。

私にとって、図書館の3階が大学時代の思い出の場所のような気がします。

商学部商学科

尾 畑 ゆ み

図書館にある本の一冊一冊に、私は“ありがとう”っていいたい。元来、本好きのせいか大学でもたくさんの本を借りて読んできたわけだが、本って単に内容を読んで知識を得るだけではない。そこから広がる創造性があるから私は好きである。一冊の本との出会いが、人の人生をきめることもある。私の場合も、灰谷健次郎氏の『兎の眼』を読んで、教育に携わっていく仕事をえらんだ。

図書館には本がたくさんあるので、これを利用しないのは人生の損のようにさえ私は思うのである。

法学部法律学科

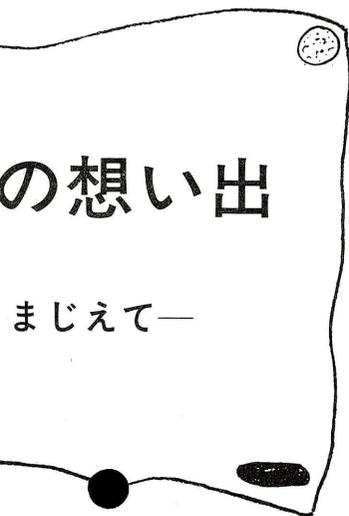
内野俊彦

私は、もっぱら小説類を読みふけていました。窓際の席に座ってページをめくっていると、隣の校庭から運動会の応援合戦の練習の声がよく聞こえ、「ああ、体育祭も掃除の時間もない大学生になったんだ……」などと、窓ガラス越しに高校生活を懐しんでいたのは昨日のことの様でした。なのにもう、卒業の春が目前です。

蔵書がよく整備されている割に読んでいる人が少なく、残念な気がします。軽い、楽な本について手が伸びてしまうのですが、読書の習慣だけは続けて行こうと思います。

法学部法律学科

中村由美



今ここに、やはり図書館からお借りしている一冊の専門書があります。クラブ活動、実習、学科試験、卒論、就職試験……それぞれの節目に触れながら使用した為、一定の間を経て同じ本を何回か借りることになりました。索引を見ながら思うのは知っている用語が確実に増えていること。一回目よりも二回目、二回目よりも三回目。その度に、新しい本に出会っている様な印象と一冊の本を完全に征服することの難しさを感じるのです。そして、いつか又、再びこの本を手にすることができたなら……と。

様々な人々を送り出してきた西南図書館と、その流れの一つにも満たない私ですが、後輩の皆さんがこの場所で何かを考え何かを学び、そして立派に社会に巣立っていけますよう、図書館の質的な発展を祈りつつ、筆を置きます。四年間、お世話になりました。

文学部児童教育科

樋口久美子

学生が求めるのは、学生をその主体とする大学が、学生の立場に立って運営されることであり、そのことが実際に行なわれるのであれば、「不親切で恐ろしい」といった学生の大学職員に対する印象は自然に無くなると思われます。

こうした意味において現在図書館で行なわれている入館方式の繁雑さは「慣れさえすれば」といった限度を越えており簡略化、あるいは根本的なシステムの改変がなされるべきだと考えます。

経済学部経済学科

高野 聡

資料紹介

フランス言語学資料集



文学部講師
小熊 和郎

1500年から1900年に至る、一般・専門辞書や言葉に関する論考から成る「フランス言語学資料集 (Archives de la linguistique française)」は全部で396点、6863枚に及ぶマイクロフィッシュの膨大な資料体である。全体を紹介することはとうてい出来ないが、有名などころではアカデミーフランセーズの辞書(第1～7版)あるいはポールロワイヤルの「一般文法」(1660・1754年版)を始めとして仏語史を研究する上で(筆者など名も知らないような)星の如き貴重な文献がリストに見える：統辞論・意味論・文体論・語源学・正書法・方言学・修辞学・言語哲学等々。

自国語についての意識がとりわけ高い様々のフランス人がフランス語について抱いている像(「美しさ」「純粋性」「普遍性」といった神話)を正確に分析するための歴史資料を、人はそこに発掘することができよう。ついでながら、認識論的な言語(仏語)学史への関心が最近フランスでも高く、言語学関係の雑誌に特集が組まれたり専門雑誌が刊行されたりして研究が盛んである。無論、修辞学に関する文献等、文学研究にも貴重な資料が含まれており、例えば10点以上もの「詩法」についての著作が収められている。

多くの人がこの資料を活用されんことを……しかしあまりの面白さで読むのに熱中して目を悪くしないように注意する必要がある、かもしれない。

(おぐま かずろう：フランス語)

MUNDUS

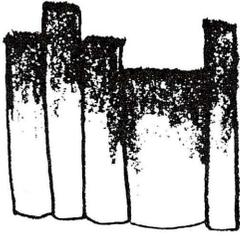


文学部助教授
大谷 裕文

アジア、アフリカ、ラテンアメリカといった第三世界に属する諸社会の研究では、西ドイツは、人文地理学、自然地理学、民族学、歴史学等の輝かしい学問的伝統をもっている。とはいえ、比較的最近に至るまで、西ドイツの第三世界研究は、ファッションナブルな話題に満ちた米、英、仏等の第三世界研究の背後に隠れてしまっていた。少なくとも民族学の分野においてはそうであったといえる。

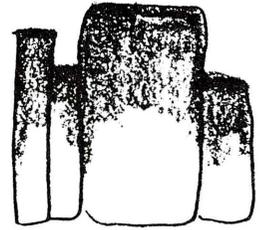
しかし、近年、西ドイツの第三世界研究は再び活性化してきたようである。それは最近のMundusの論評の中にはっきりと示されている。Mundusは、西ドイツのチュービンゲンに本拠をおくInstitute for Scientific Co-operationによって発行されている季刊雑誌であり、約20年の歴史をもっている。この雑誌の中に収録されている多数の論評は、いずれもアジア、アフリカ、ラテンアメリカの諸社会にみられる様々な問題を扱った最新の著作に関するものである。扱われている著書は、神話学、民族学、社会学、経済学、考古学、宗教学、言語学、人文地理学、地質学、動物学、植物学、医学等々の広範な学問分野に及んでいるが、Arts and EconomicsとScience and Geographyの二つの部分に分けて収録されている。なお、これらの著書はドイツ語で出版されたものだが、各論評はすべて英語で書かれており、いずれも簡潔にして要を得たものである。その他、充実したビブリオグラフィ―と著書の価格リストも載せられている。第三世界の研究にたずさわる人文、社会、自然系の研究者によって、もっと広く活用されるべき資料源であろう。

(おたに ひろふみ：文化人類学)



新着図書案内について

杉本善夫



図書館では毎日多数の新着図書を整理していますが、それ等を整理後ただちに一般の書架に配列すると、どのような新しい図書が受け入れられているのか、利用者のみなさんには見当がつきにくいので、2階カウンターの前のロビーに常時新着図書を展示して、毎週木曜日に入れ替えております。

昭和58年度においては、和漢書11,619冊、洋書8,738冊を受け入れています。これには雑誌の製本されたものも含まれています。これらを全部展示することは到底不可能ですので、その一部を案内しています。

それではどのように選択しているかという点、除外しているものは原則として洋書、製本された雑誌類、副本、研究図書費で購入されたもの、継続購入中のもの、例えば全集もの等の続きものや、上中下巻等に分かれているもののような場合です。

この方法は勿論問題もありますが現在のところこのように行っております。それでもなお展示不可能の場合が大部分ですので、多少主観的になりますが、講座関係、興味のありそうなもの等を選択しています。ただ整理の都合等で内容的にかたよることがありますのでご了承ください。

学生諸君はこの展示をご覧になって読んでみたい図書があれば閲覧を係に申し込んでください。ただし帯出は出来ません。これは西南学院大学図書館学生利用規則第20条に「新着図書は書架に陳列後10日間帯出を禁止する。」とあるためです。

そのほか年に3回（4月～7月、8月～11月、12月～3月）増加図書目録を発行しています。これは2階閲覧室の入口より左側の辞書棚の上に、和漢書、洋書別々にカードを複写したものを用意していますから、毎週の新着図書案内で不十分なところを補うようにしていますのでご利用ください。

これも雑誌類と副本は省略しています。

以上簡単ですが新着図書案内について概略を書いてみました。

（すぎもと よしお：整理課・課長補佐）

卒業証明書は、教務課にて

（手数料 100円
所要時間10分程）

発行してもらえます。

☆ ニュース・お知らせ ☆

〈図書館委員会〉

- 59.11.9 ① 昭和60年度図書館予算の申請について
② 小免課程申請に伴う関係図書の充実整備について
- 59.12.21 ① 図書館規程の見直しについて
- 60.1.11 ① 図書館規程の見直しについて（継続審議）

〈研修・出張〉

- 昭和59年度大学図書館職員講習会
59.11.6～9 於：京都大学
渡辺司書出席
- 昭和59年度九州地区著作権講習会
59.11.14,15 於：鹿児島市
品川司書出席
- 第16回（1984年度）国連寄託図書館会議
59.11.15,16 於：神戸大学
小嶋司書出席
- 第5回大学図書館研究集会
59.11.29,30 於：藤沢市
今永課長出席
- 昭和59年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会
福岡地区研究会 於：九州芸術工科大学
川上、工藤司書補出席
- 第3回東京大学文献情報センター・シンポジウム
60.1.16,17 於：東京医科歯科大学
杉野司書出席
- 昭和59年度第2回東西合同役員会・西地区部
会新旧合同役員会
60.3.19,20 於：静岡県磐田市
刀根事務次長、今永課長出席

〈東京大学文献情報センターより調査研究のため来館〉

文部省では、現在東京大学文献情報センター（以下「文献センター」と略記）を中心に、学術情報システムの完成を積極的に推進している。この文献センターの提供するサービスの実際の利用者である大学図書館に対して、システム・技術開発等の基礎

資料とするため、書面調査を終え、実地調査を実施しているところである。この調査の一環として、去る2月18日に文献センターより、根岸正光助教授以下5氏が訪れ、終日本館の機械化の状況、整理システム、事務組織等について聞き取り調査が行われた。

〈昭和59年度在庫調査の実施〉

去る3月5日～12日にかけて、例年のとおり年1回の蔵書点検を行った。図書館所蔵の約42万冊の図書について、1点1点現物との照合調査を行い、併せて、目録、原簿等の整備をはかった。

この間利用者の皆さんにはご迷惑をおかけしました。

告知板

○春休み中の開館

2月4日(月)～4月10日(水)の春休み中も、平常通り9時～21時まで開館します。但し、学習室は閉室します。

○春休み長期貸出し

1月24日(木)～4月22日(月)

(但し、卒業予定者は2月末日まで)

対象および冊数 学部学生 } 5冊以内
専攻科生 }

留学生別科生 10冊以内

大学院生 20冊以内

○卒業後の図書館利用の手続き

本学卒業生は、社会に出てからも職務上の研究・調査など、あるいは自己の教養・知識向上のため本学図書館を利用することができます。利用希望者は特別利用者規則に従ってご利用ください。

特別利用者証発行については、次のものを提出しなければなりません。

- | | |
|-----------------|------|
| ① 特別利用許可願（本館備付） | 1通 |
| ② 卒業証明書 | 1通 |
| ③ 証明書用写真（3×4cm） | 1葉 |
| ④ 印鑑 | |
| ⑤ 手続料金（1ヵ月） | 100円 |

※入館、貸出し手続きは在学中と変わりませんが、貸出し冊数および期間は年間（休暇中を含め）を通じて3冊、11日以内です